

SURUGA bank Hello Book 2010

ミニディスクロージャー誌

第199期営業のご報告

平成21年4月1日～平成22年3月31日

ごあいさつ

当社の概要 平成22年3月31日現在

設立	明治28年10月19日		
本店	静岡県沼津市通横町23番地		
店舗数	国内	127	
	静岡県内	78	神奈川県内 36
	東京都内	5	北海道内 1
	宮城県内	1	埼玉県内 1
	千葉県内	1	愛知県内 1
	大阪府内	1	京都府内 1
	福岡県内	1	
資本金	30,043百万円		



皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。ここに当社第199期の営業の概況についてご報告申しあげます。

【金融経済環境】

当期における日本経済は、各国政府による景気対策の効果などにより、輸出関連の製造業を中心に改善傾向が示されました。年度後半には、設備投資の先行指標である機械受注に底入れの動きが見られ、個人消費についてもエコカー、エコ家電等に対する購入支援策が予想以上の効果をもたらし、耐久消費財を中心に持ち直しの動きが見られるようになりました。

このような経済環境のもと、期初に8,100円台で始まった日経平均株価は、世界経済の回復期待を背景に8月には10,600円台まで上昇しました。しかし、その後のドバイショック等の影響で下落に転じ、11月には9,000円台を付けました。以降はギリシャ問題の影響で一時的に下落する局面もありましたが、米国株の上昇や円安傾向などの要因から、総じて回復傾向を示し、11,000円台で期末を迎えました。

また、長期国債の流通利回りは、期初は1.3%台前半でしたが、国債の増発懸念を背景として、6月に1.5%台半ばまで上昇しました。以降は、日銀の金融緩和策やデフレ観測などにより金利は低下基調となり、長期金利は1.3%台後半で期末の取引を終えました。

外国為替市場は、期初は98円台後半から始まり、米国経済の改善への期待から、一時101円台前半を付ける場面もありました。しかし、世界的な金融不安の高まりや、米国の低金利政策などの影響で円に資金が流入し、11月には84円台後半まで円高が加速しました。

目次

ごあいさつ	1
営業の概況	3
不良債権の状況	8
財務情報	10
株式についてのご案内	16
トピックス	17
CSR 社会・地域とのつながり	19
主なインターネット支店一覧	20
営業店舗網	21

本誌の表示金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

その後は、日本銀行の追加金融緩和政策や米国経済の改善などを受けて徐々にドルは堅調となり、93円台前半で期末を迎えました。

【業界動向】

各金融機関におきましては、企業の倒産は一段落しつつありますが依然として経営環境は厳しく、本来の重要な機能のひとつである信用創造機能の役割をいかに健全に果たしていくかが問われております。特に最近では中小企業、個人に対する返済条件の見直し、多重債務の防止など、経済状況に合わせた対応が求められております。

また、健全な金融機関として社会貢献することを念頭に、経営の安定度を高めるための資本の充実や、収益性を高めるための経営戦略の充実が求められております。

【当社の業況】

当社は、個人ならびに中小企業のお客さま向けのリテール業務を中心として、お客さまの期待を超えたサービスをご提供し続け、社会から不可欠の存在として高く評価されることを目標とするとともに、当社グループ全体の収益拡大および健全な財務体質の構築に努めております。当期につきましては、金融政策変更等の影響により有価証券利息配当金は減少しましたが、当社のコアビジネスのひとつである個人ローンの残高は着実に増加し、円貨預貸金利益は引き続き過去最高益を維持することができました。好調な企業業績の利益還元の一環として、年間配当金につきましては、当初予定通り一株当たり13円（中間配当6.5円・期末配当6.5円）といたしました。

【当期中の取り組み】

新しい取り組みとして、環境活動に対する当社の活動を「SURUGA ECO ACTION」（スルガ エコ アクション）と銘打ち、環境関連金融商品の取扱い、社会貢献活動の実施、エコオフィス化の推進、環境に関する啓蒙活動といった4つの分野に分け、積極的に取り組んでおります。平成21年7月、地球環境に配慮した「エコ店舗」第一号として、修善寺支店をリニューアル・オープンいたしました。駐車場壁面の緑化、LED照明器具の導入など、環境面に配慮してい

る点に加え、車イスのままお使いいただけるATMや記帳台、杖ホルダーなどのユニバーサルデザインも導入しております。今後もこれまで以上に環境やお客さまに優しい、気配りが感じられる店舗づくりを目指してまいります。

新商品・サービスにつきましては、平成21年7月、全日本空輸株式会社との提携による「ANA支店」において、開設5周年を記念し、お預け入れ10万円ごとに60マイルをプレゼントする、「マイル付き定期預金」のお取扱いを開始いたしました。お利息付与の他にマイルをプレゼントすることで、マイルを貯める楽しみが広がる商品となっております。

また、平成11年に邦銀初のインターネット支店として開設した「ドリームダイレクト支店」の「ジャンボ宝くじ付き定期預金」にお預け入れをされたお客さまの中から、平成21年の年末ジャンボ宝くじにおいて、今回で8人目となる億万長者が誕生いたしました。これからも引き続き多くのお客さまのもとに“ジャンボ”な夢をお届けしてまいります。

営業店舗につきましては、新たなマーケットの開拓として、平成21年4月に「京都支店」を開設いたしました。この結果、当期末の店舗数は13店舗のインターネット支店を含め127か店となっております。また、当社の基幹事業の一つである住宅ローン等のご相談窓口につきましては、4月の京都支店開設と同時に「ドリームプラザ京都」を開設し、当期末24か所で営業しております。

当社では、新たな分野への積極的な取り組みにより、「お客さまの期待を超えた良質のサービス」をご提供し、「ライフ アンド ビジネス コンシェルジュ」として、お客さまの〈夢をかたちに〉する、〈夢に日付を〉いれるお手伝いができるパートナーとなるべく、社員一丸となって努力してまいります。

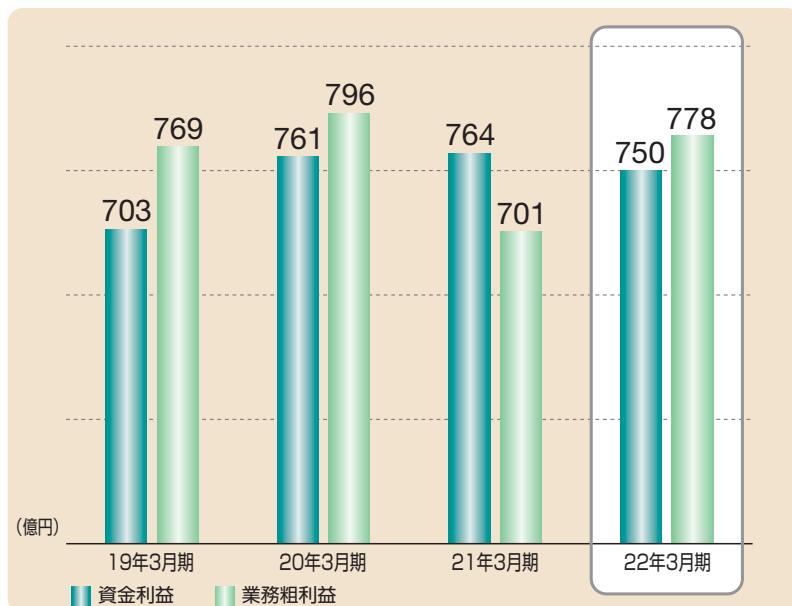
皆さま方には、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

平成22年6月

社 長 岡野光喜

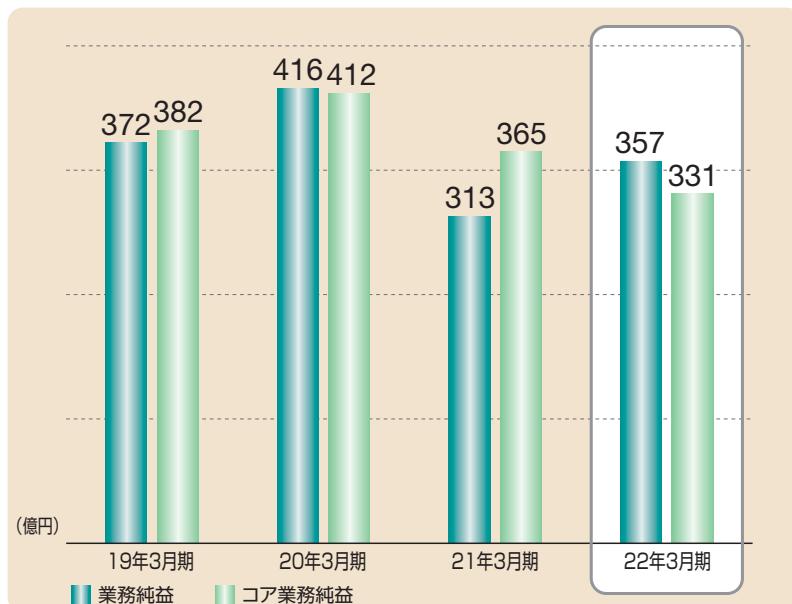
営業の概況

当期の業績につきましては、次のとおりです。



■ 資金利益／業務粗利益

業務粗利益は、銀行の基本的な業務による利益を表すもので、貸出金や有価証券、預金などの利息収支を表す「資金利益」、各種手数料収支を表す「役務取引等利益」、外国為替などの売買損益を表す「その他業務利益」により構成されます。今年度は、前年度の政策金利引き下げの影響を受けたものの、収益性の高い個人ローンが引き続き順調に増加したことなどにより、業務粗利益は前年度比77億円増加しました。



■ 業務純益／コア業務純益

当社のコアビジネスのひとつである個人ローン残高は順調に増加しましたが、役務取引等利益の減少などにより、コア業務純益は前年度比34億円減少しました。

業務純益はコア業務純益が減少したものの、国債等債券損益の改善などにより、前年度比43億円増加しました。

業務純益は、銀行本来の業務に関する収益力を表す銀行固有の指標で一般企業の営業利益に相当するものです。

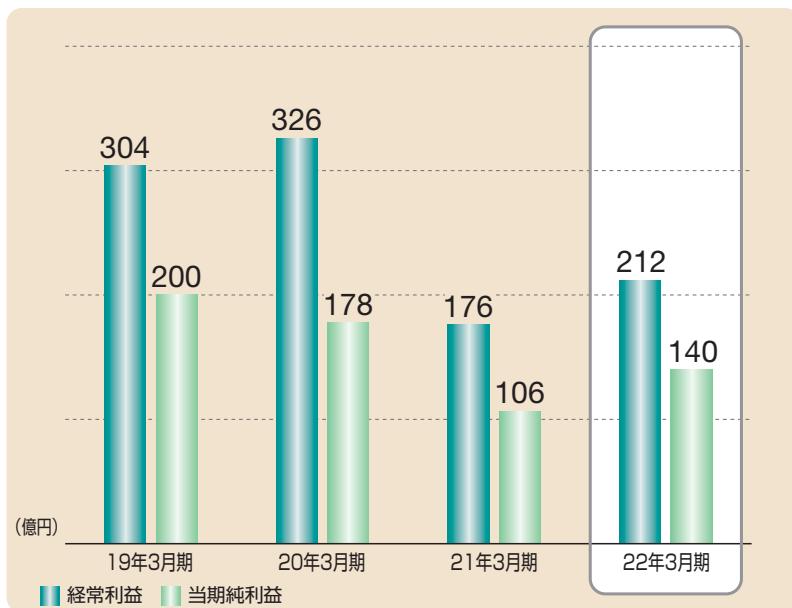
コア業務純益は、業務純益から特殊な要因で変動する一般貸倒引当金繰入額と国債等債券関係損益の影響を除いたもので、より実質的な銀行本来の業務に関する収益力を表しています。

業務純益

= 業務粗利益 - 経費 - 一般貸倒引当金繰入額

コア業務純益

= 業務純益 (一般貸倒引当金繰入前) - 国債等債券損益



■ 経常利益／当期純利益

経常利益は、業務純益の増加および株式等損益の改善等が、不良債権処理額の増加を上回り、前年度比36億円の増加となりました。

当期純利益は、前年度比34億円の増加となりました。



■ 一株当たり年間配当金

個人ローンビジネスが引き続き堅調に推移し、当期純利益が前年度を上回ったことなどから、1株当たり年間配当金は当初予定通り13円といたしました。

今後も財務体質の強化を図るとともに、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題のひとつとして、積極的に取り組んでまいります。



■ 自己資本／自己資本比率(国内基準)

経営の健全性を示す自己資本比率につきましては、貸出金の増加等に伴うリスクアセットの増加により、前年度末比0.18%低下し、11.00%となりましたが、引き続き高水準を維持しております。

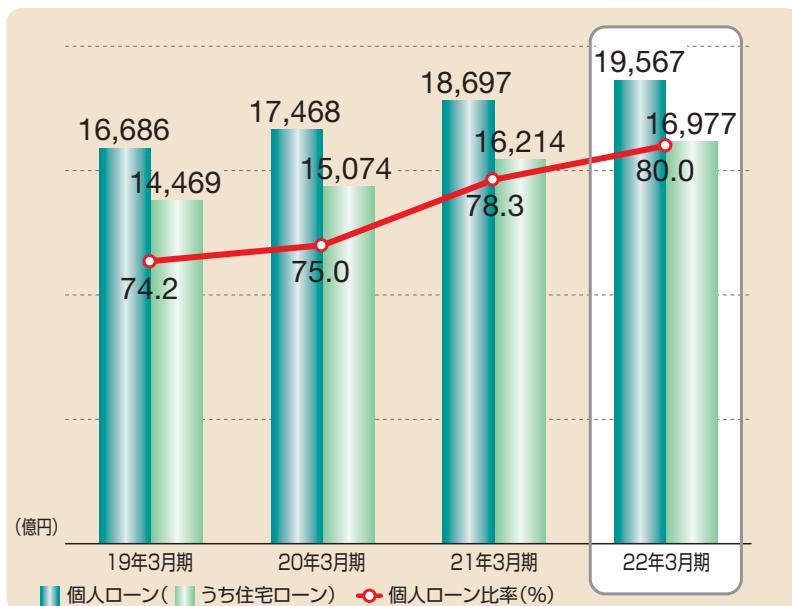
自己資本は資本金、資本剰余金、利益剰余金等の基本的項目(Tier I)と一般貸倒引当金等の補完的項目(Tier II)により構成されています。当社の補完的項目(Tier II)は一般貸倒引当金のみ計上しております。

自己資本比率
 = 自己資本額(基本的項目+補完的項目-控除項目) / リスクアセット × 100
 Tier I 比率
 = 自己資本額(基本的項目: Tier I) / リスクアセット × 100



■ 貸出金期末残高／国内貸出金利回り

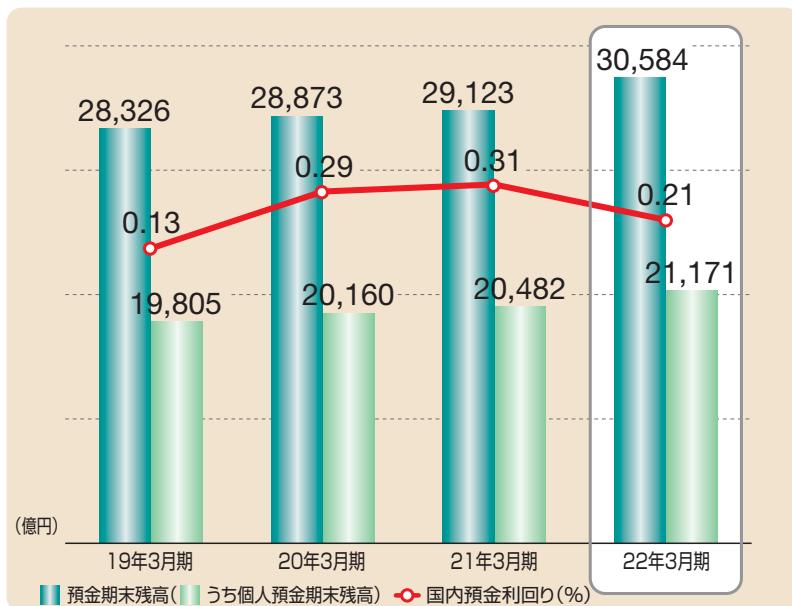
貸出金期末残高は、個人ローンの順調な増加により、前年度末比591億円増加の2兆4,452億円となりました。また、国内貸出金利回りは、政策金利の引き下げに伴い、前年度末比0.24%低下し3.39%となりました。



個人ローン残高につきましては、住宅着工件数が大幅に減少するなど市場環境が厳しい中、前年度末比869億円増加し、1兆9,567億円となりました。

住宅ローン期末残高は、前年度末比762億円増加し、1兆6,977億円となりました。

総貸出金に占める個人ローンの比率は80.0%となりました。

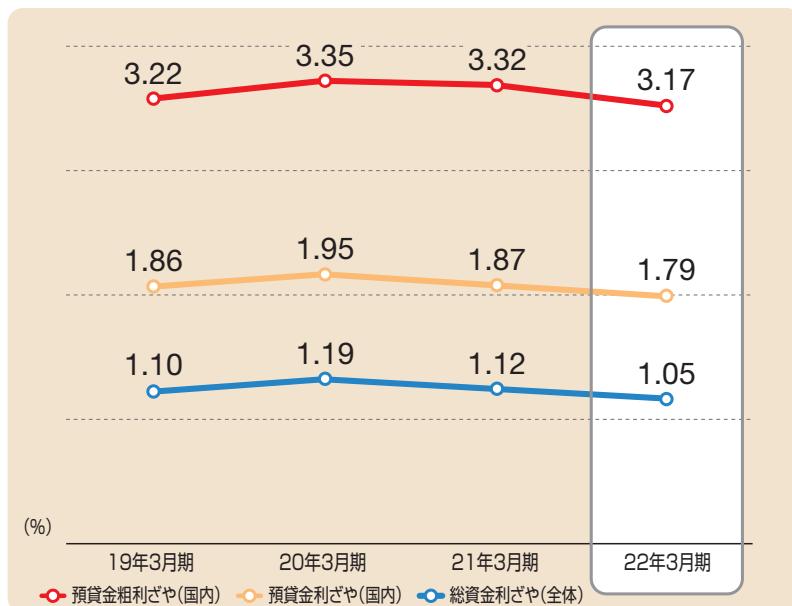


預金期末残高は、個人預金の増加などにより、前年度末比1,461億円増加し、3兆584億円となりました。

個人預金期末残高は、前年度末比689億円増加し、2兆1,171億円となりました。

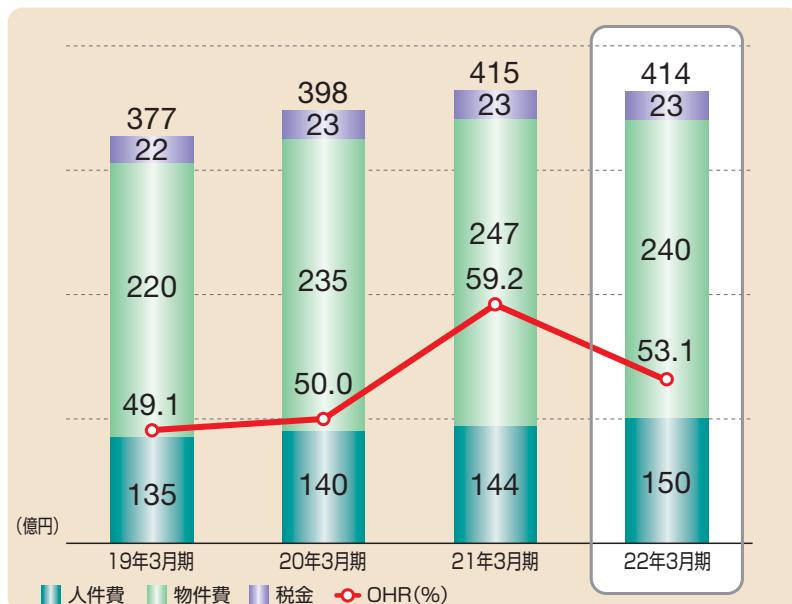
国内預金利回りは、前年度末比0.10%低下し、0.21%となりました。

営業の概況



■ 預貸金粗利ざや(国内)／預貸金利ざや(国内)／総資金利ざや(全体)

預貸金粗利ざやは、貸出金利回りに対して預金利回りを控除した、銀行における主要事業の収益性を表すものです。預貸金利ざやは、預貸金粗利ざやからさらに経費率を控除したものです。総資金利ざやは、資金運用全体と資金調達全体の利回りの差を表すものです。預貸金粗利ざや(国内)は、政策金利引下げに伴う貸出金利回りの低下などにより、前年度比0.15%縮小しましたが、個人ローンを中心とした貸出金残高の増加により、収益性につきましては引き続き高い水準を維持しております。

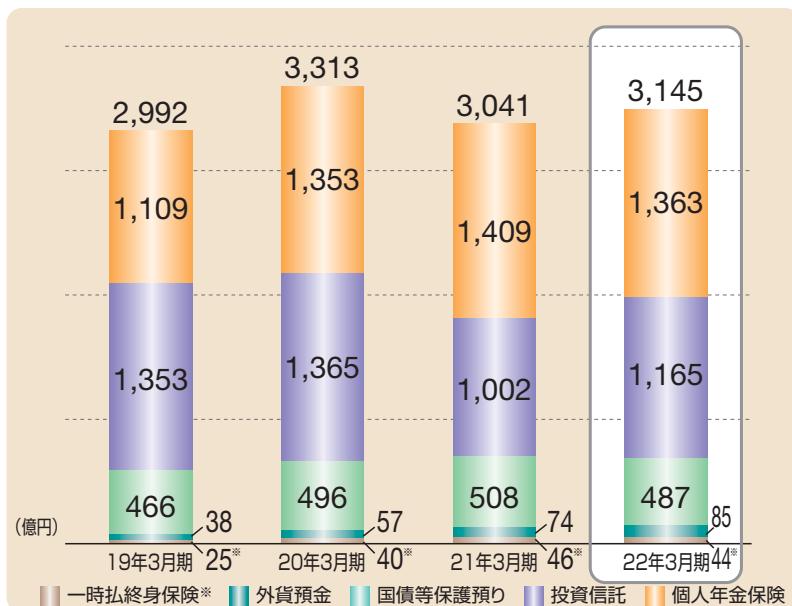


■ 経費／OHR

経費は、新店舗設置等の営業強化に伴う費用は増加しましたが、採算性を重視し、コストコントロールを進めた結果、前年度比1億円の減少となりました。

業務の効率性を示す指標であるOHR(オーバーヘッドレシオ)は、53.1%となりました。

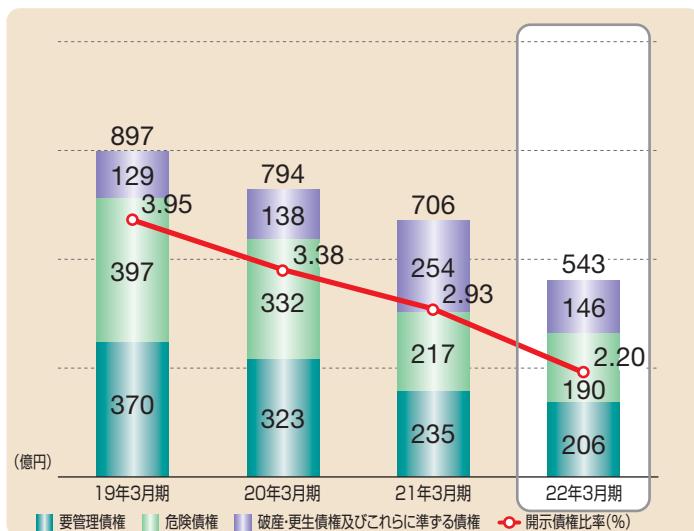
OHR(オーバーヘッドレシオ(%)) = 経費 / 業務粗利益 × 100



個人預り資産残高(投資性商品)

個人預り資産(投資性商品)の期末残高は、株式市場が緩やかに回復していることなどを受け、投資信託を中心に前年度末比104億円増加しました。

不良債権の状況



金融再生法開示債権残高・比率の推移

経済環境が緩やかに回復する中、より一層の資産の健全化を図るため、お取引先の事業再生ならびに経営改善支援の取り組みや最終処理の着実な実施により、開示債権額は前年度末比163億円減少し、543億円となりました。

総与信額に対する開示債権比率は、前年度末比0.73%低下し、2.20%となりました。

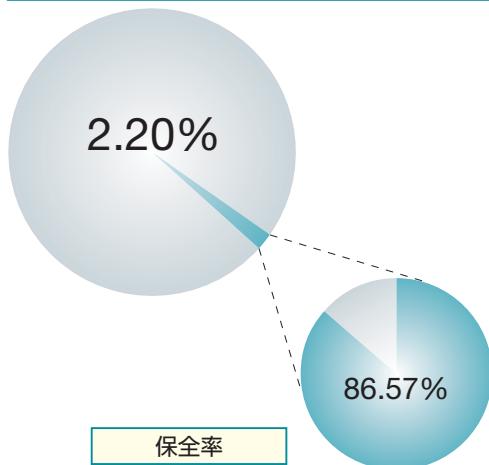
開示債権比率(%) = 開示債権残高 / 総与信残高 × 100

不良債権の状況

金融再生法に基づく開示債権

対象：要管理債権は貸出金のみ、その他は貸出金等と信関連債権および当社保証付私募債

総与信残高に占める比率

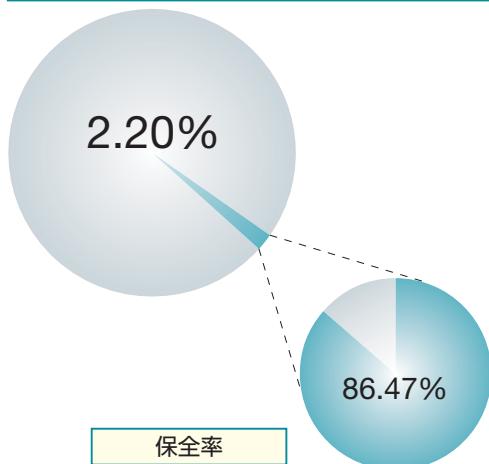


		担保・保証	引当額	保全率
破産・更生債権及びこれらに準ずる債権	146億円	98億円	48億円	100.00%
危険債権	190億円	147億円	32億円	94.73%
要管理債権	206億円	127億円	15億円	69.49%
小計	543億円	373億円	96億円	86.57%
正常債権	2兆4,094億円			
合計	2兆4,637億円			

リスク管理債権

対象：貸出金

総貸出金に占める比率



破綻先債権	21億円
延滞債権	311億円
3ヶ月以上延滞債権	10億円
貸出条件緩和債権	196億円
合計	538億円

貸出金残高(未残) 2兆4,452億円

自己査定における債務者区分

対象：貸出金等と信関連債権

破綻先	22億円
実質破綻先	124億円
破綻懸念先	190億円
要注意先	
要管理先	367億円
要管理先以外の要注意先	2,475億円
正常先	2兆1,446億円
合計	2兆4,626億円

※貸出金等と信関連債権：貸出金・支払承諾見返・外国為替・貸付有価証券・貸出金に準ずる仮払金・貸出金未収利息

財務情報

第199期末 連結貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	54,052
コールローン及び買入手形	286,236
金銭の信託	1,716
有価証券	407,628
貸出金	2,442,217
外国為替	4,078
リース債権及びリース投資資産	6,694
その他資産	41,564
有形固定資産	35,013
建物	7,937
土地	15,982
建設仮勘定	40
その他の有形固定資産	11,051
無形固定資産	4,179
ソフトウェア	3,610
ソフトウェア仮勘定	140
その他の無形固定資産	428
繰延税金資産	20,709
支払承諾見返	5,056
貸倒引当金	△26,437
資産の部合計	3,282,710

科目	金額
(負債の部)	
預金	3,056,773
借入金	3,685
外国為替	1
その他負債	20,367
賞与引当金	638
役員賞与引当金	51
退職給付引当金	148
役員退職慰労引当金	2,476
睡眠預金払戻損失引当金	267
偶発損失引当金	153
支払承諾	5,056
負債の部合計	3,089,619
(純資産の部)	
資本金	30,043
資本剰余金	19,501
利益剰余金	149,514
自己株式	△9,486
株主資本合計	189,572
その他有価証券評価差額金	1,914
繰延ヘッジ損益	1
評価・換算差額等合計	1,915
新株予約権	573
少数株主持分	1,028
純資産の部合計	193,090
負債及び純資産の部合計	3,282,710

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第199期 連結損益計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
経常収益	105,853	経常利益	22,031
資金運用収益	84,778	特別利益	2,688
貸出金利息	81,304	固定資産処分益	79
有価証券利息配当金	2,911	償却債権取立益	2,609
コールローン利息及び買入手形利息	309	特別損失	277
預け金利息	0	固定資産処分損	265
その他の受入利息	252	減損損失	11
役務取引等収益	11,893	税金等調整前当期純利益	24,442
その他業務収益	8,594	法人税、住民税及び事業税	7,074
その他経常収益	587	法人税等調整額	3,072
経常費用	83,822	法人税等合計	10,146
資金調達費用	6,713	少数株主利益	52
預金利息	6,456	当期純利益	14,244
借入金利息	62		
その他の支払利息	194		
役務取引等費用	11,306		
その他業務費用	4,508		
営業経費	42,968		
その他経常費用	18,324		
貸倒引当金繰入額	3,031		
貸出金償却	9,413		
株式等売却損	0		
株式等償却	886		
その他の経常費用	4,992		

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第199期 連結株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
株主資本	
資本金	
前期末残高	30,043
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	30,043
資本剰余金	
資本準備金	
前期末残高	19,512
当期変動額	
自己株式の処分	△3
自己株式の消却	△6
当期変動額合計	△10
当期末残高	19,501
利益剰余金	
前期末残高	144,459
当期変動額	
剰余金の配当	△3,346
当期純利益	14,244
自己株式の消却	△5,842
当期変動額合計	5,055
当期末残高	149,514
自己株式	
前期末残高	△5,336
当期変動額	
自己株式の取得	△10,071
自己株式の処分	72
自己株式の消却	5,849
当期変動額合計	△4,150
当期末残高	△9,486
株主資本合計	
前期末残高	188,678
当期変動額	
剰余金の配当	△3,346
当期純利益	14,244
自己株式の取得	△10,071
自己株式の処分	68
当期変動額合計	894
当期末残高	189,572

科目	金額
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	△2,155
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,069
当期変動額合計	4,069
当期末残高	1,914
繰延ヘッジ損益	
前期末残高	△29
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	31
当期変動額合計	31
当期末残高	1
評価・換算差額等合計	
前期末残高	△2,184
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,100
当期変動額合計	4,100
当期末残高	1,915
新株予約権	
前期末残高	427
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	145
当期変動額合計	145
当期末残高	573
少数株主持分	
前期末残高	946
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	82
当期変動額合計	82
当期末残高	1,028
純資産合計	
前期末残高	187,867
当期変動額	
剰余金の配当	△3,346
当期純利益	14,244
自己株式の取得	△10,071
自己株式の処分	68
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,329
当期変動額合計	5,223
当期末残高	193,090

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第199期末 貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	53,899
コールローン	286,236
金銭の信託	1,716
有価証券	407,456
貸出金	2,445,211
外国為替	4,078
その他資産	34,113
有形固定資産	34,649
無形固定資産	4,061
繰延税金資産	19,899
支払承諾見返	5,062
貸倒引当金	△22,936
資産の部合計	3,273,449

科目	金額
(負債の部)	
預金	3,058,422
外国為替	1
その他負債	15,830
賞与引当金	596
役員賞与引当金	51
役員退職慰労引当金	2,468
睡眠預金払戻損失引当金	267
偶発損失引当金	153
支払承諾	5,062
負債の部合計	3,082,854
(純資産の部)	
資本金	30,043
資本剰余金	18,585
利益剰余金	149,040
利益準備金	30,043
その他利益剰余金	118,997
自己株式	△9,486
株主資本合計	188,183
その他有価証券評価差額金	1,834
繰延ヘッジ損益	5
評価・換算差額等合計	1,839
新株予約権	573
純資産の部合計	190,595
負債及び純資産の部合計	3,273,449

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第199期 損益計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
経常収益	97,473
資金運用収益	81,734
貸出金利息	78,265
有価証券利息配当金	2,895
コールローン利息	309
預け金利息	0
その他の受入利息	262
信託報酬	0
役務取引等収益	11,235
受入為替手数料	2,954
その他の役務収益	8,280
その他業務収益	3,945
外国為替売買益	61
国債等債券売却益	1,821
国債等債券償還益	2,062
その他経常収益	558
金銭の信託運用益	37
その他の経常収益	520

科目	金額
経常費用	76,183
資金調達費用	6,654
預金利息	6,457
金利スワップ支払利息	58
その他の支払利息	139
役務取引等費用	11,853
支払為替手数料	790
その他の役務費用	11,063
その他業務費用	552
商品有価証券売買損	8
国債等債券売却損	22
国債等債券償還損	522
営業経費	41,645
その他経常費用	15,478
貸倒引当金繰入額	2,634
貸出金償却	9,116
株式等売却損	0
株式等償却	881
金銭の信託運用損	34
その他の経常費用	2,810
経常利益	21,290
特別利益	2,685
固定資産処分益	79
償却債権取立益	2,605
特別損失	265
固定資産処分損	265
税引前当期純利益	23,710
法人税、住民税及び事業税	6,642
法人税等調整額	3,034
法人税等合計	9,676
当期純利益	14,033

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第199期 株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
株主資本	
資本金	
前期末残高	30,043
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	30,043
資本剰余金	
資本準備金	
前期末残高	18,585
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	18,585
その他資本剰余金	
前期末残高	10
当期変動額	△3
自己株式の処分	△3
自己株式の消却	△6
当期変動額合計	△10
当期末残高	—
資本剰余金合計	
前期末残高	18,596
当期変動額	△3
自己株式の処分	△3
自己株式の消却	△6
当期変動額合計	△10
当期末残高	18,585
利益剰余金	
利益準備金	
前期末残高	30,043
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	30,043
その他利益剰余金	
別途積立金	
前期末残高	101,532
当期変動額	—
別途積立金の積立	1,500
当期変動額合計	1,500
当期末残高	103,032

科目	金額
繰越利益剰余金	
前期末残高	12,620
当期変動額	△3,346
剰余金の配当	△3,346
当期純利益	14,033
別途積立金の積立	△1,500
自己株式の消却	△5,842
当期変動額合計	3,344
当期末残高	15,964
利益剰余金合計	
前期末残高	144,196
当期変動額	△3,346
剰余金の配当	△3,346
当期純利益	14,033
自己株式の消却	△5,842
当期変動額合計	4,844
当期末残高	149,040
自己株式	
前期末残高	△5,336
当期変動額	△10,071
自己株式の取得	△10,071
自己株式の処分	72
自己株式の消却	5,849
当期変動額合計	△4,150
当期末残高	△9,486
株主資本合計	
前期末残高	187,499
当期変動額	△3,346
剰余金の配当	△3,346
当期純利益	14,033
自己株式の取得	△10,071
自己株式の処分	68
当期変動額合計	683
当期末残高	188,183

科目	金額
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	△2,155
当期変動額	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	3,989
当期変動額合計	3,989
当期末残高	1,834
繰延ヘッジ損益	
前期末残高	△27
当期変動額	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	32
当期変動額合計	32
当期末残高	5
評価・換算差額等合計	
前期末残高	△2,183
当期変動額	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	4,022
当期変動額合計	4,022
当期末残高	1,839
新株予約権	
前期末残高	427
当期変動額	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	145
当期変動額合計	145
当期末残高	573
純資産合計	
前期末残高	185,743
当期変動額	△3,346
剰余金の配当	△3,346
当期純利益	14,033
自己株式の取得	△10,071
自己株式の処分	68
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	4,168
当期変動額合計	4,852
当期末残高	190,595

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式についてのご案内

◇ 決算日

毎年3月31日をもって決算を行います。

◇ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

◇ 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

◇ 剰余金配当基準日

3月31日(期末配当)

9月30日(中間配当)

そのほか、当社が定めた基準日

◇ 公告の方法

電子公告といたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。なお、銀行法第20条6項の規定による決算公告につきましては、当社ホームページの会社情報・IR情報欄の[決算公告]欄に掲載いたします。

◇ 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

日本証券代行株式会社

同事務取扱場所

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

同連絡先

〒137-8650

東京都江東区塩浜二丁目8番18号

日本証券代行株式会社 代理人部

電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

特別口座でのお手続き用紙のご請求をインターネットでも受付いたしております。

ホームページアドレス

<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

◇ お知らせ

(1) お届け内容(ご住所、配当金振込先など)の変更、その他諸手続きについて

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。

特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせ下さい。

(2) 配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせ下さい。

(3) 未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人日本証券代行株式会社までお問い合わせ下さい。

(4) 単元未満株式(1,000株未満の株式)の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。

特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせ下さい。

(5) 特別口座から一般口座への振替申請手続きについて

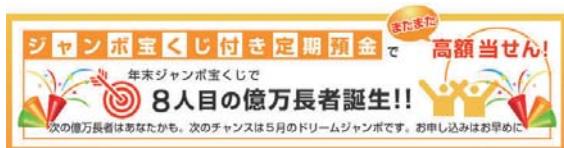
特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせ下さい。

注) 特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設(既に開設されている場合不要)し、特別口座から一般口座へ振替申請を行って下さい。

トピックス

「ジャンボ宝くじ付き定期預金」で億万長者誕生！

ドリームダイレクト支店の「ジャンボ宝くじ付き定期預金」にお預け入れをされたお客さまの中から、平成21年年末ジャンボ宝くじで高額当せん者が誕生いたしました。今回で8人目の「億万長者」誕生となります。



詳細は当社インターネットホームページをご覧ください。
<http://www.surugabank.co.jp/dream/>

ゆうちょ銀行 住宅ローン等の取扱店舗の拡大

当社は株式会社ゆうちょ銀行と個人ローン業務において提携し、ゆうちょ銀行が当社の代理店として、当社の個人ローン商品を提供しております。このたび、平成22年5月10日より新たに32店舗において取扱いを開始し、従前と合わせた取扱店舗数は計82店舗となりました。

お問い合わせ先
スルガ銀行 ゆうちょローンサービスセンター 0120-708-655
お電話承り時間：月～金曜日（祝日を除く）9：00～19：00

自己株式の取得について

自己株式を、平成21年10月1日から平成22年6月23日までの予定で、11,000千株を上限として取得していくことといたしました。今後も、株主の皆さまへの積極的な利益還元を図ってまいります。

休日融資相談窓口の設置

中小企業や個人事業主のお客さまの資金繰りや、個人のお客さまの住宅ローンのご返済条件の変更等に関するご相談にお応えするために、平成21年12月から平成22年3月末まで「休日相談窓口」を設置いたしました。

「第89回天皇杯全日本サッカー選手権大会」特別協賛

昨年度に引き続き、真の「日本一のサッカーチーム」を決する国内唯一の大会である本大会に特別協賛いたしました。

大学勢としてプロのJ1チームから勝利をあげるという史上初の快挙を達成した、明治大学の山本紘之選手に、天皇杯を象徴したゴールを表彰する「SURUGA I DREAM Award」を贈呈いたしました。



「SURUGA I DREAM Award」表彰式の様子

投資信託8ファンドお取扱い開始

平成21年12月1日よりお申込み手数料のかからないノーロードタイプのファンド、および「SURUGA ECO ACTION」の一環として環境関連ファンドを含む、計8本の新ファンドのお取扱いを開始いたしました。

詳細は当社インターネットホームページをご覧ください。
<http://www.surugabank.co.jp/surugabank/kojin/topics>

「SURUGA ECO ACTION」とは

環境活動に対する当社の宣言であり、環境活動を4つの分野に分け、それぞれに取り組んでおります。



環境関連金融商品の取扱い

社会貢献活動の実施

エコオフィス化の推進

環境に関する啓蒙活動

お客さまお一人おひとりにとって身近な存在に

「ドリームサロンセミナー」 「ファイナンシャルプラザセミナー」



上質で落ち着いた雰囲気の中で、定期的にサロン形式でのセミナーを開催しています。お客さまのマネープランやライフプランを考えるためのヒントや気づきをご提供しています。

最近実施したセミナーをご紹介します。

会場	ドリームサロン小田原	清水ファイナンシャルプラザ
内容	誰もが経験する介護や相続の問題について、どのように対処していけばよいかを、事例を交えながら、分かり易くご説明いたしました。	講師の方をお招きし、世界の金融市場を中心に最新の情報をお客さまに発信いたしました。

上記店舗を含め、「ドリームサロン」は計8店舗ございます。

●各種セミナーのお申込み等詳細はこちら

<http://www.surugabank.co.jp/surugabank/kojin/service/benri/seminar>

法人のお客さま対象セミナー

「スルガ・マネジメントセミナー」



中小企業が抱える経営課題を解決するためのヒントを、タイムリーにご提供する、企業経営研究所後援のセミナーです。

テーマ 「観光」から「感幸」へ
一地域の魅力を生かしたエコツアーの展開

講師 有限会社オズ海島遊民くらぶ代表・ガイド
旅館「海月」女将 江崎 貴久氏

夢が広がるさまざまなテーマのセミナーを開催

「d-labo (夢研究所)」

東京ミッドタウン（六本木）内にある「d-labo (夢研究所)」では、定期的に『夢』を軸にさまざまなテーマのセミナーやイベントを開催しています。『夢探し』のヒントがたくさん詰まったセミナーに一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

●詳細はこちら <http://www.d-labo-midtown.com/index.php>



こんなユニークなセミナーも

天竜支店「ストレッチ健康体操」

ストレッチ・エアロビクスを取り入れ、楽しく体を動かしながら健康の保持・増進につながる教室を開催いたしました。高齢者の方を中心に、多くの方にご参加いただきました。



天竜支店 リニューアル・オープン

平成22年4月、スペースを有効に活用し、「人が集う」地域密着型店舗として、リニューアル・オープンいたしました。

お金に関するアドバイスサービス

「スルガ・マネークリニック」を開始

お金に関するご心配事やご不安事などをお聞きし、お一人おひとりに合った最適なマネープランのアドバイスをするサービス「スルガ・マネークリニック」を4月26日より開始いたしました。

- 携帯電話のQRコードからも受付中
- 専用フリーダイヤル 0120-718-239
お電話承り時間 月～金曜日（祝日を除く）
9:00～17:00

お金の健康診断、
受付中。

SURUGA
Money Clinic



CSR 社会・地域とのつながり

当社は地域文化の活性化を図るため、地域の催事・記念行事への積極的な参加や文化支援活動などを通じて、皆さまとの連帯・共感を深め、地域社会の明るい発展に力強く貢献していきます。

ベルナルル・ビュフェ美術館

昭和48年創設の当美術館は、現代フランスの巨匠ベルナルル・ビュフェの作品約2,000点を収蔵し、多くの皆さまにご覧いただいています。また、子どもたちの参加体験型美術館「ビュフェこども美術館」も併設しています。



重度障がい者支援活動

重度身障者に雇用機会を提供することで、社会的経済自立を促進するとともに、障がい者自らが技術習得を図ることなどを目的とした印刷会社、株式会社エイ・ピー・アイを静岡県、沼津市、当社の共同出資で、平成2年に設立しました。なお、本誌の印刷は同社にご協力をいただいています。



SURUGA CUP

地域社会のスポーツ振興をお手伝いするため、「スルガカップ静岡県ユース(U-15)サッカー選手権大会」「スルガカップ静岡県ユースリーグ」「スルガカップ争奪静岡県サッカー選手権大会(天皇杯全日本サッカー選手権大会静岡県予選)」にスポンサー協賛しています。



静岡サッカーミュージアム

平成16年8月に開館した当資料館は、サッカー王国静岡の歴史を後世に伝えていくため、静岡県出身の歴代名選手のユニフォームやスパイクなどを多数展示しています。このほどもさらに新たなスペースを設け、選手のサイン入りユニフォームを追加するなど展示品を充実させリニューアルいたしました。



井上靖文学館

文豪・井上靖の作品群を読み継ぐために、生前ゆかりの物品・資料を保存し公開しています。また、企画展や子どもたちの「読み話し会」などさまざまな活動を展開しています。平成21年は「第24回国民文化祭・しずおか2009」に共催しました。



スルガ奨学財団

当社創立者岡野喜太郎翁の100歳を記念して設立され、高校在学3年間、大学在学4年間、外国人留学生の大学在学2年間、それぞれ返済の義務のない奨学金を給与しています。奨学金制度による卒業生は平成22年3月末で4,949名にのぼります。



主なインターネット支店一覧

銀行取引でマイルが貯まる全く新しいマイレージ&バンキングスタイル

ANA支店

<http://www.surugabank.co.jp/ana/>

フリーダイヤル/0120-029-589
(海外から 055-98-02988)

お電話承り時間
9:30~17:00 (月~金曜日) (祝日を除く)



8人目の億万長者誕生でさらに大好評の宝くじ付き商品をご提供

ドリームダイレクト支店

<http://www.surugabank.co.jp/dream/>

フリーダイヤル/0120-86-1689

お電話承り時間
9:00~17:00 (月~土曜日) (祝日を除く)



OCN会員の方専用の金融サービスが充実

OCN支店

<http://www.surugabank.co.jp/ocn/>

フリーダイヤル/0120-005-175

お電話承り時間
9:00~17:00 (月~金曜日) (祝日を除く)



ゆうちょ銀行でお申し込みできるスルガ銀行のローンお取引店

ゆうちょ専用支店

<http://www.surugabank.co.jp/yb/>

フリーダイヤル/0120-745-600

お電話承り時間
9:00~17:00 (月~金曜日) (祝日を除く)



女性向けのバンキングサイト

ソネット支店

<http://www.surugabank.co.jp/so-net/>

フリーダイヤル/0120-50-2189

お電話承り時間
9:00~17:00 (月~土曜日) (祝日を除く)



ローン中心のダイレクトバンキング

ダイレクトワン支店

<http://www.surugabank.co.jp/directone/>

フリーダイヤル/0120-60-1616

お電話承り時間
9:00~19:00 (月~金曜日) (祝日を除く)



インターネットを活用した先進の金融サービスをご提供

ダイレクトバンク支店

<http://www.surugabank.co.jp/directbank/>

フリーダイヤル/0120-708-807

お電話承り時間
9:00~17:00 (月~金曜日) (祝日を除く)



付加価値の高いビジネスローンサービスをご提供

イービジネスダイレクト支店

<http://www.surugabank.co.jp/ebusinessdirect/>

フリーダイヤル/0120-185-285

お電話承り時間
10:00~19:00 (月~金曜日) (祝日を除く)



ネットライフをもっとアクティブに 各種金融サービスをご提供

ネットバンク支店

<http://www.surugabank.co.jp/netbank/>

フリーダイヤル/0120-55-4189

お電話承り時間
9:00~17:00 (月~金曜日) (祝日を除く)



(平成22年4月30日現在)

営業店舗網 (127か店) (平成22年5月31日現在)

●静岡県 (78か店)

- 9 E◎ 本店営業部
- 9 E○ 沼津原町支店
- 9 E 徳倉支店
- 9 E○ 沼津駅支店
- 9 E○ 沼津大手町支店
- 5 沼津市役所出張所
- 8 E○ 沼津港支店
- 9 E○ 沼津南支店
- 8 E 沼津静浦支店
- 9 E○ 沼津青野支店
- 9 E 沼津あしたか支店
- 9 E◎ 沼津セントラル支店
- 9 E◎ 三島支店
- 9 E◎ 三島セントラル支店
- 9 E○ 三島西支店
- 9 E◎ 長泉支店
- 8 E ウェルディ長泉出張所
- ANA支店
- OCN支店
- ソネット支店
- ダイレクトバンク支店
- ドリームダイレクト支店
- ネットバンク支店
- マイ支店
- エスイーバンク支店
- ダイレクトワン支店
- イービジネスダイレクト支店
- タウンネットワーク支店
- ハウジングローン支店
- 9 E◎ 清水町支店
- 9 E○ 大場支店
- 9 E○ 伊豆長岡支店
- 9 E◎ 伊豆中央支店
- 8 E○ 修善寺支店
- 8 E○ 中伊豆支店
- 9 E◎ 熱海支店
- 9 E◎ 熱海駅支店
- 9 E◎ 伊東支店
- 9 E○ 伊東駅支店
- 8 E◎ 下田支店
- 8 E○ 松崎支店
- 8 E○ 伊豆稲取支店
- 9 E◎ 御殿場駅支店
- 9 E◎ 御殿場西支店
- 9 E◎ 御殿場東支店
- 8 E◎ 裾野支店
- 9 E○ 小山支店
- 9 E◎ 富士吉原支店
- 9 E 富士市役所前出張所
- 9 E◎ 富士支店
- 9 E○ 富士鷹岡支店
- 8 E◎ 富士宮支店
- 8 E◎ 清水支店
- 8 E 興津支店
- 9 E○ 清水駅支店
- 9 E○ 清水三保支店
- 8 E 清水高橋支店
- 9 E○ 草薙支店
- 9 E◎ 静岡支店
- 9 E◎ 静岡南支店
- 6 ○ 静岡県庁支店
- 8 E○ 伝馬町支店
- 9 E◎ 静岡東支店
- 8 E 静岡上土支店
- 8 E○ 焼津支店
- 9 E○ 岡部支店
- 9 E○ 藤枝駅支店

- 8 E○ 島田支店
- 9 E○ 榛原支店
- 8 E○ 相良支店
- 10 E○ 金谷支店
- 9 E◎ 掛川支店
- 8 E○ 袋井支店
- 8 E○ 磐田支店
- 8 E 天竜支店
- 9 E◎ 浜松支店
- 8 E 浜松追分支店
- 8 E○ 浜松北支店

●神奈川県 (36か店)

- 8 E◎ 横浜支店
- 6 神奈川県庁出張所
- 11 E○ 横浜東口支店
- 11 E◎ 横浜日吉支店
- 9 E○ 横浜戸塚支店
- 8 E○ 横浜弥生台支店
- 8 E○ 横浜若葉台支店
- 9 E◎ 横浜磯子支店
- 9 E○ 横浜六ツ川支店
- 9 E◎ 横須賀支店
- 8 E○ 横須賀武山支店
- 9 E◎ 久里浜支店
- 8 E○ 三浦海岸支店
- 8 E◎ 鎌倉支店
- 9 E◎ 藤沢支店
- 8 E◎ 湘南ライフタウン支店
- 9 E◎ 湘南台支店
- 6 慶應義塾大学出張所
- 9 E○ 辻堂支店
- 9 E◎ 茅ヶ崎支店
- 9 E○ 茅ヶ崎鶴が台支店

- 8 E 浜見平支店
- 9 E◎ 平塚支店
- 9 E◎ 厚木支店
- 9 E○ 厚木鷹尾支店
- 8 E◎ 相模原支店
- 8 E○ 東林間支店
- 8 E○ 中央林間支店
- 9 E◎ 海老名支店
- 9 E◎ 秦野支店
- 9 E◎ 小田原支店
- 9 E◎ 小田原東支店
- 8 E◎ 松田支店
- 8 E◎ 南足柄支店
- 9 E◎ 箱根支店
- 8 E 湯河原支店

●東京都 (5か店)

- 9 E◎ 東京支店
- 6 E 渋谷支店
- 6 E 新宿支店
- 7 E ミッドタウン支店
- ゆうちょ専用支店

●その他 (8か店)

- 6 札幌支店
- 6 仙台支店
- 6 大宮出張所
- 6 柏出張所
- 6 名古屋支店
- 6 大阪支店
- 6 京都支店
- 6 福岡支店

店舗のご案内

◎印は外貨両替取扱店

○印は外貨両替取扱店(外貨現金売渡のみ)

E印はATM、土曜・日曜・祝日取扱店

(1/1～1/3および5/3～5/5を除く)

〈5/3～5/5のうち日曜日にあたる日は営業〉

5はATM平日17時まで取扱店

6はATM平日18時まで取扱店

7はATM平日19時まで取扱店

8はATM平日20時まで取扱店

9はATM平日21時まで取扱店

10はATM平日22時まで取扱店

11はATM平日23時まで取扱店

自動取引機(ATM)設置状況

●店舗内設置	113か所	335台
●店舗外設置	25,979か所	27,329台
(うちスルガATM)	165か所	189台
(うちセブン銀行ATM)	13,442か所	14,612台
(うちイーネットATM)	10,304か所	10,345台
(うちタウンネット ワークサービスATM)	533か所	533台
(イオン銀行ATM)	1,535か所	1,650台
●合計	26,092か所	27,664台
	(平成22年4月30日現在)	

銀行代理店(82か店)

銀行代理業者の商号：株式会社ゆうちょ銀行

銀行代理業務の概要：ゆうちょ銀行直営店82店舗においてスルガ銀行の住宅ローン等個人ローン業務に係る契約締結の媒介

●北海道(1か店) 札幌支店	熊谷店 川口店 所沢店 越谷店 浦和店 上尾店	川崎店 登戸店 藤沢店 橋本店 横須賀店	立川店 新宿店 成城店 葛西店 武蔵野店	●愛知県(3か店) 名古屋支店 中川店 豊橋店	枚方店 布施店 豊中店	●広島県(2か店) 広島支店 福山店
●宮城県(1か店) 仙台支店	●千葉県(5か店) 船橋店 習志野店 柏店 八千代店 若葉店	●東京都(17か店) 本店 京橋店 芝店 浅草店 蒲田店 品川店 渋谷店 中野店 豊島店 赤羽店 練馬店 光が丘店	●長野県(1か店) 長野店	●三重県(1か店) 四日市店	●奈良県(1か店) 奈良店	●山口県(1か店) 山口店
●茨城県(2か店) 水戸店 つくば店			●石川県(1か店) 金沢支店	●滋賀県(1か店) 大津店	●兵庫県(4か店) 神戸店 姫路店 尼崎店 宝塚店	●香川県(1か店) 高松店
●栃木県(1か店) 宇都宮店			●岐阜県(1か店) 岐阜店	●京都府(2か店) 京都店 伏見店	●和歌山県(1か店) 和歌山店	●福岡県(3か店) 北九州店 博多店 久留米店
●群馬県(2か店) 前橋店 高崎店	●神奈川県(9か店) 横浜店 都筑店 青葉台店 港北店		●静岡県(2か店) 静岡店 浜松店	●大阪府(7か店) 大阪支店 大阪東店 堺店 吹田店	●岡山県(2か店) 岡山店 倉敷店	●熊本県(1か店) 熊本支店
●埼玉県(8か店) さいたま支店 川越店						

ローンご相談窓口

ドリームプラザ日本橋	横須賀ハウジングローンセンター
ドリームプラザ渋谷	湘南ハウジングローンセンター
ドリームプラザ新宿	平塚ハウジングローンセンター
ドリームプラザ横浜	厚木ハウジングローンセンター
ドリームプラザ札幌	中央林間ハウジングローンセンター
ドリームプラザ仙台	小田原ハウジングローンセンター
ドリームプラザ大宮	三島ハウジングローンセンター
ドリームプラザ柏	富士ハウジングローンセンター
ドリームプラザ名古屋	静岡岡ハウジングローンセンター
ドリームプラザ大阪	藤枝ハウジングローンセンター
ドリームプラザ京都	浜松ハウジングローンセンター
ドリームプラザ福岡	ダイレクトハウジングローンセンター

資産運用ご相談窓口

ドリームサロン渋谷	ドリームサロン茅ヶ崎
ドリームサロン新宿	ドリームサロン小田原
ドリームサロン日本橋	ドリームサロン厚木
ドリームサロン横浜	清水ファイナンシャルプラザ
ドリームサロン藤沢	

ATMネットワークのご案内

入金も出金もできるATM



ゆうちょ銀行

ゆうちょ銀行のATM



セブン銀行

セブン銀行のATM



E-netマークのコンビニATM



スリーエフ店内に設置されているタウンネットワークサービスのATM

出金ができるATM



全国の提携金融機関
ATM・CD



イオン銀行

イオン銀行のATM

最寄りのATMの情報が検索できます。

<http://www.surugabank.co.jp/surugabank/shiten/>

緊急連絡先のご案内

キャッシュカード・通帳・印鑑を紛失された際は、直ちにお取引店または以下緊急サポートセンターへご連絡下さい。

スルガ銀行緊急サポートセンター

☎055-987-8182 24時間365日(有人受付)

同時に最寄りの警察(交番)にもお届け下さい。



詳しい内容、お問い合わせは

アクセス
センター  **0120-50-8689**
お電話 承り時間 月～金曜日(祝日を除く) 9:00～19:00

ホーム
ページ www.surugabank.co.jp



JQA-QM4469
JQA-EM1256
JQA-IM0301
アクセスセンター